

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 2月 29日

事業所名 トーマス・クラブ四街道教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	1	2	1	荷物のスペースなど 一ヶ所にまとめス ペース確保	利用者人数に対し少し 狭いです
	②	職員の配置数は適切である		4			適切だが急遽の時の ためにもう一人欲しい
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	1	1	2		階段が急
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	3	1			定期的な1on1を実施
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	4				保護者様の意向を確 認し改善につなげる
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4				HPに公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3		1		第三者評価は行って いない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	4				県や市もしくは民間で行う研 修に参加し伝達研修も実施 している
適切な支 援の提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4				保護者様からの要望も できる限り対応しなが ら計画を立てている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	4				県で公開しているアセスメン トを使用し更新時は別途基 本的なツールを使用
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4				スタッフみんなで話し 合い行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	2	2			大きなプログラムは変えず、そ の中でもバリエーションを増やし 固定化しないようにしている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4				課題設定を行っている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成している	4				集団活動の時間は短 いが目標設定を行い 実施している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	4				昼礼にて実施 役割等の確認を行って いる
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	1			翌日の昼礼にて実施し 保護者様の意向・ス タッフの反省点の共有	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				サービス提供記録を通して 記録し検証・改善を話し合っ ている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	3	1			半年に1回のモニタリング を実施し次回のサービス 計画へ反映している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	3	1			自立支援・日常生活の充実、創 作活動、余暇の提供を中心に 工夫し支援を行っている
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4				管理者や児童発達支援管理責 任者を中心に相談支援事業所 より依頼があった場合は担当者 会議に参加する
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	4				学校の連絡会へ参加し情報 共有を行えている また、直接コーディネーター の先生へ直接、話をするよ うにしている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	1	3			医療的ケアを必要とされ る利用者さんの受け入れ は行っていません
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	3	1			就学前の事業所により対応に 差が大きいため、児童発達支援 事業所と連携をとっているがど ちらともいえない状況
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	3	1			障害福祉サービス事業 所へ移行するご利用者 の情報提供は保護者様 の了承を得たご利用者 のみ実施
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4				研修へ参加している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	3	1			屋外活動が多いため 公園内で地域の子とも と活動する場面あり
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	4				部会などに積極的に参 加し、情報収集に努めて いる
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	4				送迎時や連絡帳を通して 随時確認を行うほか、必 要時には面談も行ってい る
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	4				面談や電話・メールなど で相談を受けた場合は、 アドバイス等を行ってい る
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4				契約時・面談時に説明 している
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				面談や電話・メールなどで 相談があった場合は、助言 及びアドバイス等を行って いる
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	4				年2回保護者会を実施 し保護者様同士の繋 がりも出来ている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				苦情等があった場合すぐに管理者へ報告し管理者が迅速に保護者様へ連絡し解決できる体制を整えている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				毎月、通信を作成・配布し活動時の子どもたちの表情が分かるようにしている
	③⑤	個人情報に十分注意している	4				個人情報には施錠できる棚に保管しスタッフも取り扱いについて話をしている
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				絵カードなど視覚を中心とした配慮を行っている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4				夏祭り・餅つき大会など神社をお借りし行っているため地域の方も参加してくれている
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1			マニュアル類は作成しスタッフは確認しているが保護者様への周知はできていない
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1			年に2回避難・消防訓練を実施し児童も参加している
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				県や民間の研修にも参加しフィードバック研修も事業所内でも研修を行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				面談時に保護者様への伝達、事業所内でのミーティング時に職員間での情報共有の徹底を行っている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				保護者様作成の一覧表をおやつ・食事の配慮をしている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				ヒヤリハット報告書を作成し全員で情報共有している

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。